

HOT NEWS

都議会ネット

- 第4回東京都議会定例会の開催、11月28日～12月12日。西崎光子が一般質問の予定。
- 各会派 2015年度予算要望提出。
- 東京都長期ビジョン策定。
- 東京都消費生活対策審議会最終答申まとめ発表。
- 「東京の総合的な交通政策のあり方検討会」まとめ発表。

地域ネット

府中ネット

映画「モンサントの不自然な食べ物」上映会とワークショップ
12月13日(土) 10:00～16:30
府中グリーンプラザ・第5会議室(京王線府中駅)
講師:白井和宏さん
上映会 10:00～/14:30～
お話し&ワークショップ 13:00～
「食」ひいては「いのち」をめぐるドキュメンタリー映画。遺伝子組み換え作物について考えます
参加費 1000円
主催:三多摩自治体学校 in 府中

西東京ネット

西東京市議会議員選挙に、新人のかとう涼子、後藤ゆう子を擁立予定
12月14日(日)告示、21日(日)投票

品川ネット

品川・生活者ネットワーク20周年/2015品川区議選政策発表集会「吉田ゆみこ・田中さやかと語ろう! 暮らしと政治」
12月20日(土) 14:00～16:30
スクエア荏原3階大会議室(東急目黒線武蔵小山駅・東急池上線戸越銀座駅10分)
基調発言:池田敦子さん(NPO法人理事長/元都議会議員)

大田ネット

新春!爆笑ライブ!!「今」を切り取る!
松元ヒロ・ソロライブ
2015年1月17日(土) 14:00～
開場 13:30
大田文化の森・ホール(京浜東北線大森駅西口または東急池上線池上駅からバス、大田文化の森下車)
チケット代 1000円

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

百害あって一利なし! リニア中央新幹線着工認可は 直ちに中止を

10月17日、太田国土交通大臣はJR東海によるリニア中央新幹線事業への評価書を承認、工事着工を了承した。生活者ネットワークは、この巨大プロジェクトが南アルプスの手つかずの自然を破壊し、地下水脈の分断、膨大な工事残土の運搬・処理・仮置きなどによって沿線住民の生活に重大な影響を与えること、電力浪費の愚や電磁波被害などを指摘、リニア新幹線事業計画に異議を唱えてきた。



東京生活者ネットワーク代表委員
都議会議員【世田谷区】
西崎光子

3・11福島原発事故を機にエネルギーの大量消費が見直されています。リニア中央新幹線^注は、莫大な建設費がかかるばかりか新幹線の3～4倍もの電力を必要とします。このような交通が推進されるのでは、電力はいくらあっても足りません。発生電磁波も強く、乗客や沿線住民の健康被害も無視できません。

生活者ネットワークは、環境を破壊し巨費を投じるリニア中央新幹線事業には、これまでも反対を表明してきました。

遡る3月24日、東京都は、沿線自治体からの意見や市民から寄せられた意見を踏まえ、環境影響評価条例に基づきJR東海に意見書を提出。大気質、騒音・振動、低周波音、水質、磁界等々について詳細に意見を述べています。対してJR東海は、項目ごとに見解を述べたものの不確定要素を連ねるばかりで、指摘事項が解決したとは言えません。

例えば、都内のリニア新幹線施設(品川・大田・世田谷・町田)は、ほとんどが大深度地下を通ることになるため、地下水や土壌への影響が避けられません。JR東海は、地下水の水質や水位について、シート養生をする、モニタリングや定期的窓口設置などを示しましたが、工事によって井戸涸れを招く懸念は拭えません。発生残土についても、搬出から処理までのフロー図が示されただけ。すでに町田市ではヒ素が溶出した地点がありますが、汚染土のチェック体制及び汚染が見つかったときの対策は示されていません。

生命進化の記録を刻む 山-南アルプスに 横穴をあける愚!

事業認可から3年余。この間、東京都を始め沿線各地の住民や自治体から、南アルプスの景観・地形・地質・生態系破壊や大井川の地下水減水、工事残土の処理、工事車両が及ぼす住民生活への影響などを懸念し、計画撤回の声が広がっています。

【注】最速505km/hの高速走行が可能な超電導磁気浮上式リニアモーターカーによる。計画では2027年先行開業をめざすとす品川-名古屋間を最速40分で、東京-大阪間を最速67分で結ぶと試算されている。一方、超伝導技術に不可欠となるヘリウムガスの溜溜、採掘段階で公害を引き起こすレアメタルの大量消費など根本問題は隠されたままで。



リニア新幹線を考える沿線住民ネットワーク/日本自然保護協会/公共事業改革市民会議の共催で、参議院議員会館で開かれた「リニア新幹線の工事許可をするな」抗議集会。2014年10月17日

生活者ネットワークは都内34の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。